

高知医療再生機構 | メディカルインタビュー



おかえりなさい!

医療の現場で、患者の皆さんやスタッフがあなたの復職を待っています。そして、医療従事者と医療現場の明日を考える。高知医療再生機構は、あなたの「ただいま!」を応援します。

企画戦略担当特任医師
キャリア支援相談室 室長
鈴木 裕介

- 2000年 3月 千葉県立千葉高校卒業
 - 2008年 3月 高知大学医学部医学科 卒業
4月 国立高知病院初期研修医
9月 結婚
 - 2009年 10月 第1子出産
 - 2010年 4月 高知大学医学部附属病院放射線科
 - 2012年 4月 細木病院内科および高知医療再生機構企画戦略担当特任医師
 - 2012年 5月 第2子の誕生 / 育児休暇取得(2週間)
- 日本内科学会認定医(2013年取得予定)



あなたが笑顔で働く姿が、
誰かの希望になります。

● 医師もいろんな生き方があっていい

Interview 02 Yusuke Suzuki
医師不足の高知県。女性医師に子どもを産んでも仕事を続けてほしい、休職中の方には戻ってほしいというのが私たちの願いです。もちろん、結婚をしない、子どもを持たないという女性医師もいます。私はどんな生き方も尊重されるべきであり、それぞれに合った働き方、キャリアの積み方があると思っています。「まずは専門医資格を」という考えが一般化していますが、それには5〜6年かかります。結婚、出産し、復職したその後で資格を目指すことも可能ですし、3年で取れる認定医の資格でも十分なキャリアです。医者は資格よりも人柄が大事。患者さんに共感できる力がものをいいます。母親としての経験を生かせる場面もたくさんあると思います。

● 女性の復職支援は進んでいます

医療の現場は厳しく、医師の仕事は激務。産休や育休を取りつらく、復職にも二の足を踏む女性医師が多いのが現状です。しかし、病院によっては支援体制が進み、働く環境が整ってきています。私が勤務している病院では、パートや非常勤などの働き方が選べます。病後児も預かってくれる院内託児所もありますし、有休がとりやすいのもうれしいところです。

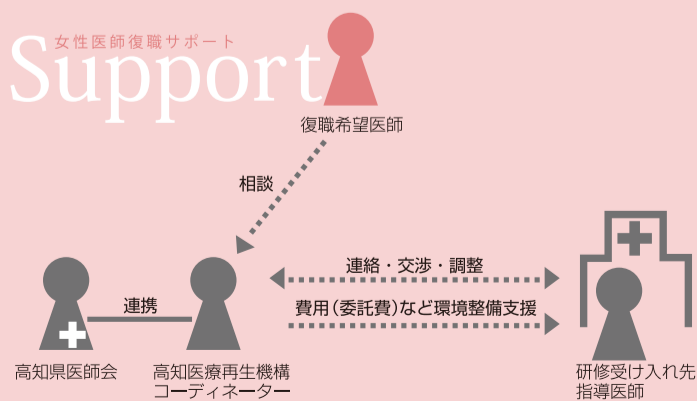
● 夫婦間の理解が社会の理解に

保育園から「お子さんが発熱しました」と連絡があった場合、お迎えに行くのは大抵母親の役目です。しかし、医師は手術や具合の悪い患者さんをおいて帰ることはできず、ご主人の協力とサポートが欠かせません。現在復職しておられる女性医師の方々のバックにも、ご主人の頑張りがあると思います。職場も、こうした男性側の頑張りをもっと理解し、認めていくことも必要だと感じています。

女性医師復職を応援しています。

ただいま!

高知医療再生機構は、休職中の女性医師の「ただいま!」を支援しています。サポートの中心は復帰のための研修環境整備ですが、復帰のためのあらゆる相談に可能な限り対応したいと考えています。また、制度に不備があれば、新しい支援システム、復職プログラムの構築にも取り組みます。もちろん、復職には、家族の声援、支援がいちばんですが、高知医療再生機構のコーディネーターのサポートも、きっとあなたの力になれるはずですので、お気軽にご相談ください。



高知医療再生機構は、医師・医療スタッフへ幅広いサポートを行っています。詳しくはホームページをご覧ください。



一般社団法人
高知医療再生機構

<http://www.kochi-mrr.or.jp/>

〒780-8570 高知県高知市丸の内 1-2-20 高知県庁本庁舎内 TEL 088-822-9910